

新春寄稿

出版業界

文化通信

THE BUNKA NEWS

株式会社 文化通信社 ©文化通信社 2017

発行所 東京都文京区湯島2-4-3
 ソフィアお茶の水302 〒113-0034
 電話 03(3812)7466 FAX 03(3812)7465
 振替口座00190-1-25374
 【北海道】札幌市北区北7条西2-6 〒060-0807
 電話 011(737)4166 FAX 011(726)4633
 【中部】名古屋市東区東桜1-14-12 〒461-0005
 電話 FAX 052(951)0348
 【関西】大阪市北区西天満4-10-7 〒530-0047
 電話 FAX 06(6364)9217
 【九州】福岡市博多区博多駅前3-7-3-707
 〒812-0011
 電話 FAX 092(474)5461

新年特集 第1号



「文化通信」では2017年の新年を迎えるにあたり、新聞業界、広告業界、出版業界の企業・団体の幹部の方々から、新年号恒例のご寄稿をいただいた。今年のテーマは「思い出の一曲」。年末の風物詩である「紅白歌合戦」や、新春恒例のオーケストラコンサート、忘年会や新年会でのカラオケまで、年末年始は歌や曲に触れる機会も多い。そして、誰もが持っている「懐かしい」「心に残る」自分にとっての一曲を思い出すこともあるだろう。各業界の皆さんに、さまざまなジャンルの曲、それにまつわるエピソードをご執筆いただいた。

(編集部)

ジョン・レノン「マザー」



ら絞り出すような
 ジョンの声が記憶
 に残ります。

1970年、高校2年生(17歳)月にアルバムリリースされます。私は熱い時を過ごしています。ビートルズ解散後のソロ・アルバムです。その中の「マザー」が、e.g. はアメリカで狂気じみていた。何故か心に残る一曲となりました。最近になって知ったのですが、

その年、洋楽の世界ではレット・イト・ビー(ビートルズ)、原初療法という精神療法によつて、多感の時に様々な名曲と

フラック・ナイト(ディープ・パブル)、明日に架ける橋(サイモン&ガーファンクル)、移民の歌(レッド・ツェペリン)と名曲の数々が流れていました。アビーロードスタジオ前の横断歩道を行進

光和コンピューター 代表取締役 寺川 光男氏(62) 昨年4月、国際出版連合ロンドン大会、あれから46年…、

そんな中、ロンドンのアビーロードスタジオで収録された、ジョン・レノンの「ジョンの魂」が12品だそう。ジョンの幼少期の両親をめぐる辛い体験に基づく心でいただいた私は、日本書籍出版協会の中町英樹専務理事、ビジネス教育出版社の酒井敬男社長とご



原初療法とは、幼少期の記憶にまで遡って、人間心理の奥深く潜む苦痛を呼び覚まし、すべてを吐き出すという治療法だそう。前の横断歩道を大胆で行進して、「子供達よ、僕の過ちを繰り返すな。僕は歩けもしないのに走ろうとした」

この写真も、大切な思い出の一枚となりました。